



士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区 Vol. 23 No. 2536

2015-2016年度国際ロータリーのテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー
会長 K. R. ラビンドラン

2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>
士別ロータリークラブ <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

2015-2016年度士別ロータリーのスローガン
ロータリーを活かそう



羊と雲の丘から士別市街地を望む

- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会 長／伊藤優市 ■ 副会長／加藤 博
- 幹 事／近井孝義

第2617回例会 2016年2月1日(月)

今日のプログラム ・ 普通間例会 ・ 誕生祝い ・ 理事会

前回(1月25日)の記録 ・ 夜間例会

- ・ 司 会 奈良康弘会場監督
- ・ 齊 唱 それでこそロータリー
- ・ 本日の出席 会員48名 出席48名 出席率100%
- ・ 本日の欠席

・ メークアップ

・ ビジター
・ ゲスト

坂田 仁氏(国際ロータリー第2500地区職業奉仕委員会委員長)、長久和敬氏(名寄ロータリークラブ次年度職業奉仕委員長)

・ ニコニコBOX 宮崎隆雄会員(JCシニアクラス会長就任)、神田英一会員(税理士法人設立記念として)
累計 205,000円

例会予定

■ 2月例会日【平和と紛争予防/紛争解決月間】

- 2月1日(月) 例会・理事会
- 2月8日(月) 例会
- 2月15日(月) 特別休日
- 2月22日(月) 例会
- 2月29日(月) 夜間例会

■ 3月例会日【水と衛生月間】

- 3月7日(月) 例会・理事会
- 3月14日(月) 例会
- 3月21日(月) 休日(法定休日:振替休日)
- 3月28日(月) 夜間例会

■会務報告

…伊藤優市会長

●1月25日に穴田俊昭会員の見舞に行き行って参りました。チョットした油断から骨折し全治2か月の事でしたが、元気な様子で安心いたしました。早い快方をお祈りいたします。

●今までロータリーの金看板である職業奉仕特別月間が10月でしたが、今年度より1月が職業奉仕月間に変更に成りました。坂田地区職業奉仕委員長が例会にゲストとして来市されることでロータリー定款第5条5大奉仕部門2「奉仕の第2部門である職業奉仕は事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。」

手引きロータリーは職業を通じて社会に貢献する職業奉仕を基準としており、ロータリー運動は単なる理念の提唱でなく、実践哲学と言われてます。

読ませて頂きましたが、難しく、日頃の勉強不足を痛感致しました。

本日、坂田地区職業奉仕委員長の卓話を頂きながら再度、職業奉仕について勉強したく存じます。

■幹事報告… 近井孝義幹事

1. 美深ロータリークラブ様から12月の会報が届いております。回覧ファイルに置いておきます。
2. 国際ロータリー2500地区ガバナーノミニニー・デグジネートの公表がありました。帯広北ロータリークラブの細川吉博会員が2018～2019国際ロータリー2500地区ガバナーとなります。

■ゲスト

ゲストに坂田 仁氏（2015-2016国際ロータリー第2500地区職業奉仕委員会委員長）、長久和敬氏（名寄ロータリークラブ次年度職業奉仕委員長）をお迎えし、職業奉仕についてお話をお聞きしました。



坂田 仁氏（国際ロータリー第2500地区職業奉仕委員会委員長）

■職業奉仕とは何？＝ここで大事なことは、ロータリアンは日々の仕事を通して生きる力の根本である自らの道徳的能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。すなわち、ロータリアンは日常の職業活動を通して、



長久和敬氏（名寄ロータリークラブ次年度職業奉仕委員長）



大野真一郎氏（名寄ロータリークラブ）

自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、**生きる力の根源である道徳的能力を向上させる**ことに努めているのです。このような仕事の仕方をロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。

ロータリアンは日々の職業奉仕を通して、自身の、また、職場や地域社会の人達の**生きる力の根源の力である想像力を高め**、社会の進歩と平和に貢献しているのです。

ここでもう一つ述べておきたいことがあります。それは、自分が他に対してとるべきと考える**態度が適切か否かを判断する際に、想像力とともに、その適切性を判断する規準が必要である**ということです。この規準はあくまでも個人的なもので、人により異なるものですが、ある程度の一般性を持つべきものでもあります。

（以上 ロータリー百科事典からですが、職業奉仕のキーワードとして生きる力の根源に「道徳的能力」と「想像力の向上」を求めていました。よくはわかりませんが、他者との態度と関係に一般性を持つ適切な判断基準も必要みたいなことのようにです。その判断基準のひとつが「4つのテスト」だそうです＝記・北村）